

川崎スポーツ



7月29日(日) 30日(月) 31日(火)

ワールド女子プロレス・ディアナ杯 デイリースポーツ杯争奪戦

FI

勢いある小川真が他を圧倒

7月29日からの川崎競輪はナイター開催で行われるWWD杯ナイタースポーツ杯のF1戦。

優勝候補の筆頭に挙げるのは小川真太郎(徳島107期)。勢いある四国勢の若手のなかでも中心的存在だ。追加参戦する渡部哲男(愛媛84期)との強力タッグが本線とみる。金子幸央(栃木101期)と神山拓弥(栃木91期)の両者も関東ライの中心として強力な西日本勢に立ち向かう。復調気配がある伊藤裕貴や、スピドある岡崎智哉(大阪96期)、自在な藤田勝也(和歌山94期)らを擁する中近勢も層は厚い。地元南関東勢の戦力の低さは否めないが、上野真吾(神奈川93期)や松坂洋平(神奈川89期)らは上位でも通用する実力は十分なので奮起に期待。

前半のA級戦は矢口大樹(千葉95期)、染谷幸喜(千葉111期)らが揃う南関東勢がリード。その他の東日本勢はS下がりの三浦翔大(宮城98期)や荒井春樹(長野99期)らが本調子に戻れば優勝争いに食い込む。遠征勢は倉野隆太郎(三重91期)、富尾享平(大阪101期)がいる中近、西日本は復調してきた自在な徳永哲人(熊本100期)あたりが浮上しそうだ。

S級主力選手

小川 真太郎
徳島107期



今シリーズの優勝候補筆頭はこの小川真太郎だろう。積極的な攻めを基本にするが、流れに応じた柔軟性も併せ持つ。グレードレースでも存在感が増してきている。F1戦ではきつちり結果を残しているし、G1などの大きなレースでは、先輩を連れてきた大駆けで魅せる走りもすっかりしてきた。最近で印象的な競走といえば、6月岸和田で行われた高松宮杯の準決勝。同県の原田研太郎(徳島98期)を連れて積極的に攻めた。決勝に乗せた。徳島は多くの若手が育っているが、その勢いを象徴するかのような見事な走り。前回のサマーナイト松戸では初日こそ失敗したものの、残りの2日は連勝で締めた。「だいぶ状態は戻っている感じがありますね」と前向きなコメントも出ている。オールスターを半月後に控えているこの時期に、ただ練習で叩いての参加になるかだが、どんな状態でも今の小川ならF1戦で人気が応える競走をしてくれるはず。

神山 拓弥 栃木91期



堅実な差し脚と番手での仕事ぶりで安定した走りを見せるのが神山拓弥だ。関東勢のなかでも信頼度は高く、いくつかのグレードレースでも結果を出してもおかしくない存在だ。機動型の番手できつちりとガードすることはもちろん、目標が無ければ自ら自在に戦で活路を拓けるのもこの人の魅力であり、ラインからの信頼の厚さが増す要因とも言えるだろう。展開さえ向けばキメ脚はしつかりしているし、まくり程度の自力なら備えている。当川崎バンクなら、多少苦しい位置からでも突っ込んで来るはずだ。今シリーズは同県の金子幸央も参戦しており、この2人

が同乗するような間違いなく優勝戦線に食い込むだろう。30代になり円熟期を迎える神山の技術と脚力に注目したい。

伊藤 裕貴 三重100期



徐々に復調の気配が見られる伊藤裕貴に注目したい。前期はケガで3カ月近く欠場することになり、復帰後は苦戦が続いた。しかし、7月のサマーナイト松戸で「調子は戻ってきたか」と口にしては、その松戸こそ振るわなほど、あとは結果が出せるかどうかと封じた。2次予選は先行で中盤3車の上位独占を演出。昇級間もない原口昌平(福岡107期)の機動力を完封したが、山中秀将(千葉95期)のホームガムを捲りゴール寸前捕える金星を挙げる。準決勝は大敗に終わったものの、以前のような力強い逃げで主導権を取り切り見せ場を作った。着実に状態を戻している今節は優勝戦線に加わってもおかしくない。



A級主力選手 染谷 幸喜 千葉111期



A級予選からの注目選手には染谷幸喜。陸上のなかでもハードな十種競技などで鍛え上げた瞬発力は抜群。チャレンジ戦こそしばらく結果が出せずに苦戦しており、昨年後期にデビューして半年で優勝は2回。持ち味のダッシュが生かれば勝ち切れるが、逃がしなから、今年3月の玉野競輪で完全優勝を果たすと、4月の取手、青森でトントン拍子で9連勝。一気に特昇班を決めた。昇班してからも既に6場所に参加して、11勝を挙げている。しかも、7月の弥彦では3連勝も完全V。積極的に攻めての結果も多々。課題の末脚には相当な磨きがかかっている。身体能力の高さは折り紙付き。このままレースを重ねて経験値を積んで行けばS昇級もそう遠い将来にはならないだろう。

富尾 享平 大阪101期



今シリーズは遠征勢の機動型が少なく、とくに中近勢はこの富尾の自力が頼りとなりそう。前期S級では苦戦することが多かったが、抜群のダッシュ力には定評がある。学生時代はアメリカフットボールで活躍。学生時代から国内屈指のプレーヤーとして活躍。そこで培った瞬発力を生かしたレースが持ち味の選手だ。そのダッシュの良さが裏目に出て後続が離れてしまうシーンも少なくないが、タイミング良く仕掛けた時のまくり、カシの威力は相当。今期はA級に降級することになり、自力も多用しそう。今期ここまでの2戦は優勝こそ無いものの、捲りで2勝、追込みで1勝を挙げた。とくに前回の準決勝は苦しい7番手を置かれながらも直線が気に前団をごぼう抜き。強力な別線が相手となるが、スパーダッシュで切り抜ける。

URBAN BANK かわさきケイリン

注金	上野真吾	佐々木則幸	安部貴之	岡部芳幸	伊藤裕貴	池田良	神山拓弥	小川真太郎	予想氏名
101	93	79	92	66	100	91	91	107	府県
S1	S1	S1	S2	S1	S1	S1	S1	S1	級別
1回	4回	3回	3回	1回	0回	3回	4回	1回	1着
3回	2回	2回	2回	1回	2回	5回	6回	3回	2着
4回	1回	0回	5回	4回	2回	4回	6回	3回	3着
16回	16回	14回	9回	16回	13回	14回	15回	11回	着外
0回	1回	0回	2回	1回	0回	0回	0回	0回	棄権
0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	失格
24回	24回	19回	21回	26回	17回	26回	31回	32回	出走回数
4.10%	16.60%	15.70%	14.20%	3.80%	0.00%	11.50%	12.90%	46.80%	連対率
16.60%	25.00%	26.30%	23.80%	19.20%	11.70%	30.70%	32.20%	56.20%	連対率
33.30%	29.10%	26.30%	47.60%	34.60%	23.50%	46.10%	51.60%	65.60%	3連対率
7回	1回	0回	0回	0回	8回	0回	0回	12回	H数
6回	2回	0回	1回	0回	5回	0回	0回	14回	B数
106.79	100.78	105.78	107.00	104.76	102.52	111.42	110.35	113.25	競走得点

決勝想定メンバー